

疫病、べと病などの卵菌類病害に
“よかったね、早めのランマン”

殺菌剤

ランマン®
フロアブル

®は登録商標

特長 1

優れた予防効果・残効性・耐雨性

優れた残効性と耐雨性により安定した予防効果が期待できます。
残効が長く、作物・生育ステージによっては、10～14日間隔の散布も可能で、
農薬使用回数の低減につながります。

特長 2

病原菌の各生育ステージを低濃度で阻害

孢子発芽から孢子形成に至る各生育ステージを阻害し、安定した防除効果を示します。

特長 3

まん延防止効果 (サニテーション効果)

予防効果主体の薬剤ですが、遊走子のう形成阻害作用に優れ、次世代の菌密度を
効率的に抑えるので、未感染葉や周辺株への病害進展を防ぎます。

特長 4

登録作物が多い

主要作物からマイナー作物まで様々な作物に登録があるので汎用性が高く、
使いやすい薬剤です。



適用病害と使用方法

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数(倍) | 使用液量(L/10a) | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | シアゾファミドを含む農薬の総使用回数 | | |
|----------------------------------|------------------------|---------------------|---------------------|----------------------------------|-------------------|---------------|---|---|-------------------------------|
| 稲(箱育苗) | 苗立枯病(ピシウム菌) | 1,000 | ※1 | は種時 | 1回 | 土壌灌注 | 1回 | | |
| | | | | 発芽後～緑化期 | | | | | |
| ぶどう | べと病 | 1,000~2,000 | 200~700 | 収穫14日前まで | 3回以内 | 散布 | 3回以内 | | |
| かんきつ | 褐色腐敗病 | 2,000 | | 収穫前日まで | | | | | |
| いちじく | 疫病 | | | 収穫3日前まで | | | | | |
| 日本なし | | | | | | | | | |
| 小麦 | 褐色雪腐病 | 1,000 | 100 | 根雪前 | 3回以内 | 無人航空機による散布 | 3回以内 | | |
| | | 250 | 25 | | | | | | |
| | | 8 | 0.8 | | | | | | |
| あずき | 茎疫病 | 原液 | 種子重量の2% | は種前 | 1回 | 種子塗沫 | 4回以内 (種子への処理は1回以内、散布は3回以内) | | |
| だいず | 茎疫病、べと病 | 1,000~2,000 | 100~300 | 収穫7日前まで | 3回以内 | 散布 | | | |
| | | 原液 | 種子重量の1~2% | は種前 | 1回 | 種子塗沫 | | | |
| えだまめ | 茎疫病 | 原液 | 種子重量の2% | は種前 | 1回 | 種子塗沫 | | | |
| さといも | 疫病 | 1,000~2,000 | 100~300 | 収穫3日前まで | 3回以内 | 散布 | 2回以内 | | |
| | | 2,000 | 100~300 | 収穫前日まで | 2回以内 | 無人航空機による散布 | | | |
| ばれいしょ | 疫病 | 32 | 3.2 | 収穫前日まで | 4回以内 | 無人航空機による散布 | 4回以内 | | |
| | | 16 | 1.6 | | | | | | |
| | | 1,000~2,000 | 100~300 | | | | | | |
| | | 375 | 25 | | | | | | |
| | | 600 | 40 | | | | | | |
| キャベツ | べと病 ピシウム腐敗病 | 2,000 | 100~300 | 収穫3日前まで | 3回以内 | 無人航空機による散布 | 6回以内 (育苗期の灌注は1回以内、本圃での株元灌注は1回以内、散布は3回以内) | | |
| | | 32 | 3.2 | | | | | | |
| | | 16 | 1.6 | | | | | | |
| | | 2,000 | 250ml/株 | 収穫14日前まで | | | | 1回 | 株元灌注 |
| カリフラワー | 根こぶ病 | 500 | ※2 | 定植前日～当日 | 1回 | 灌注 | 6回以内 (育苗期の灌注は1回以内、本圃での株元灌注は1回以内、散布は4回以内) | | |
| | | 2,000 | 250ml/株 | 収穫14日前まで | 1回 | 株元灌注 | | | |
| はくさい | べと病 ピシウム腐敗病 白さび病 | 2,000 | 100~300 | 収穫3日前まで | 4回以内 | 散布 | 6回以内 (育苗期の灌注は1回以内、本圃での株元灌注は1回以内、散布は4回以内) | | |
| | | | | 250ml/株 | | | | 収穫14日前まで | 1回 |
| 非結球あぶらな科葉菜類 (なばな類を除く) エンサイ | 白さび病 | 2,000 | 100~300 | 収穫3日前まで | 3回以内 | 散布 | 3回以内 | | |
| なばな類 | 根こぶ病 | 500 | ※2 | 定植前日～当日 | 1回 | 灌注 | 4回以内 (灌注は1回以内、散布は3回以内) | | |
| ブロッコリー | | 2,000 | 250ml/株 | 収穫14日前まで | | | | 5回以内 (育苗期の灌注は1回以内、本圃での株元灌注は1回以内、散布は3回以内) | |
| にがうり | 疫病 | 1,000 | 100~300 | 収穫3日前まで | 3回以内 | 散布 | 2回以内 | | |
| きゅうり、メロン | べと病 | 1,000~2,000 | 150~300 | 収穫前日まで | 4回以内 | 散布 | 4回以内 | | |
| ズッキーニ | | 1,000 | 100~300 | | | | | | |
| すいか | 褐色腐敗病 | 1,000~2,000 | 100~300 | 収穫前日まで | 2回以内 | 散布 | 2回以内 | | |
| とうがん | 疫病 | 2,000 | | | | | | 3回以内 | 3回以内 |
| かぼちゃ | べと病、疫病 | | | | | | | | |
| トマト、ミニトマト | 疫病 | 1,000~2,000 | | | | | | 150~300 | 4回以内 |
| ピーマン、とうがらし類 | 疫病 | 2,000 | 100~300 | 収穫3日前まで | 3回以内 | 散布 | 3回以内 | | |
| なす | | | | 褐色腐敗病 | | | | | |
| ねぎ | べと病 | 2,000 | 100~300 | 収穫3日前まで | 4回以内 | 散布 | 4回以内 | | |
| レタス、非結球レタス わけぎ、ほうれんそう | | | | | | | | | |
| 葉たまねぎ | べと病、白色疫病 | 2,000 | 100~300 | 収穫7日前まで | 3回以内 | 散布 | 3回以内 | | |
| たまねぎ | | | | | | | | | |
| みょうが(花穂) | 根茎腐敗病 | 500 | 3L/m ² | 生育期 但し、 収穫3日前まで | 3回以内 | 土壌灌注 | 4回以内 (種根茎浸漬は1回以内、土壌灌注は3回以内) | | |
| みょうが(莖葉) | | 200 | - | 植付前 | 1回 | 30分間 種根茎浸漬 | | | |
| しょうが | 根茎腐敗病 | 500 | 3L/m ² | ※3 | 3回以内 | 土壌灌注 | 3回以内 | | |
| 葉しょうが | | 1~3L/m ² | 生育期 但し、 収穫30日前まで | | | | | | |
| こんばんやく | 根腐病 | 500~1,000 | 3L/m ² | 生育期 但し、 収穫3日前まで | 2回以内 | 散布 | 2回以内 | | |
| 畑わさび | 白さび病 | | | 収穫14日前まで | | | | | |
| わさび | 白さび病 | 150~300 | 150~300 | 収穫7日前まで 畑育苗期 | 2回以内 | 散布 | 2回以内 | | |
| かぶ | べと病、白さび病 | 2,000 | 100~300 | 収穫3日前まで | 3回以内 | 散布 | 3回以内 | | |
| | | | | 根こぶ病 | 2L/m ² | は種時 | 1回 | 灌注 | 4回以内 (は種時の灌注は1回以内、散布は3回以内) |
| だいこん | ワッカ症 | 2,000 | 100~300 | 収穫3日前まで | 3回以内 | 散布 | 3回以内 | | |
| はつかだいこん | 白さび病 | | | | | | | | |
| みつば | べと病 | 100~300 | 100~300 | 収穫3日前まで 但し、伏せ込み栽培は 伏せ込み前まで | 2回以内 | 散布 | 2回以内 | | |
| バジル | 白色疫病 | 500~1,000 | 100~300 | 収穫3日前まで | 2回以内 | 散布 | 2回以内 | | |
| おかひじき | | | | | | | | | |
| らっきょう | 白色疫病 | 150~300 | 100~300 | 収穫3日前まで | 2回以内 | 散布 | 2回以内 | | |
| いちご | 疫病 | 500~1,000 | 50ml/株 | 育苗期 | 2回以内 | 株元灌注 | 4回以内 (育苗期は2回以内、 定植後は2回以内) | | |
| | | | 100ml/株 | 生育期 但し、 収穫30日前まで | | | | | |
| ホップ | べと病 | 2,000 | 200~700 | 収穫14日前まで | 4回以内 | 散布 | 2回以内 | | |

※1:育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当り0.5L ※2:セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約2.5~7L)当り2L
※3:みょうが(莖葉)での使用時期は、「みょうが(花穂)の収穫3日前まで。ただし、花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで。」



殺菌剤分類 21

有効成分

シアゾファミド…9.4%(w/w)

人畜毒性

普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

上手な使い方

- 病虫害の初期発生源となる圃場内や周辺の雑草除去、および前作物の被害残渣や罹病株の処理を適切に行いましょう。
- 農薬の使用にあたっては…
 - 同系統薬剤の連用をさげ、ローテーション防除を心がけましょう。
 - 農薬の有効成分総使用回数を守りましょう。
- 本剤は灰色かび病や炭疽病、うどんこ病、夏疫病、軟腐病、葉かび病、輪紋病、晩腐病、黒とう病に防除効果がありませんので、それらの病害が同時発生する場合は、これらに有効な薬剤と組み合わせて使用してください。



効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 使用前に容器をよく振ってください。
- 予防効果主体なので、できるだけ発病前または発病初期に散布してください。
- 小麦、ばれいしょに対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した兼用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
- 根こぶ病防除に使用する場合、発病が激しい場合は効果が劣ることがありますので、土壌処理剤と組み合わせ使用してください。
- キャベツに灌注処理する場合は、品種によっては初期に軽度の生育抑制がみられることがあります。実用上に問題はありません。
- 本剤を使用したわさびの苗を畑地からわさび田に移植する場合には、使用した農薬がわさび田の水系に持ち込まれないよう、わさびの苗に付着した土を十分に洗い落とすしてください。
- みずかけ水(水掛葉)に使用する場合は、ほ場内に水がたまり状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
- あずき、だいずおよびえだまめの種子塗沫に使用する場合は次の注意事項を守ってください。
 - 使用前に容器をよく振ってから塗沫処理を行ってください。
 - 薬剤の使用量を守り、水等で希釈せずに使用してください。
 - 塗沫処理は播種当日または前日に行ってください。
 - 薬剤が種子に均一に付着するように処理した後、速やかに広げて乾燥させてください。
 - 本剤を処理した種子を食用など目的外に使用しないでください。
 - 本剤処理後の播種から発芽までの時期は土壌が過湿にならないように注意してください。
- 散布器具の洗浄水および残りの薬液は河川等に流さず、容器等は環境に影響を与えないよう安全に処理してください。
- 使用液量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布流量に合わせて調節してください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 本剤の使用にあたっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病虫害防除等関係機関の指導を受けるようにしてください。



安全使用上の注意

- 使用の際は不浸透性手袋などを着用してください。
 - かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
 - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないようにしてください。
 - 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
 - 密栓し、直射日光を避け、食品と区別して冷涼な所に保管してください。
- ※無人航空機による散布で使用の場合は、製品ラベルの注意事項を守ってください。

空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤の小児の手が届く所に置かないでください。

